

平成 27 年 4 月より福井工業高等専門学校の技術職員となって

福井工業高等専門学校 教育研究支援センター

山田健太郎

k-yamada@fukui-nct.ac.jp

1. はじめに

平成 27 年 4 月より福井工業高等専門学校 教育支援センター第一技術班に在籍しています。私の経歴としましては大学卒業後、工作機械メーカーに平成 26 年 3 月まで在籍しておりました。

職務経歴（技術開発部に所属の際）

- ①工作機械の設計・製図 ②他部門からの依頼などによる図面改訂
- ③工作機械の特注機的设计・製図 ④工作機械の取扱説明書作成

職務経歴（生産技術部に所属の際）

- ①工作機械の設計・製図 ②モジュール部品・大型部品の搬送治具の設計・製図
- ③工作機械の組立手順書作成 ④工作機械の検査基準書作成

上記のように様々な職務を経験することができました。

卒業生が社会人になった際に困らないように工作機械メーカーでの経験も話しながら指導しています。

2. 福井工業高等専門学校での職務内容

主に機械工学科の機械工作実習・機械工学実験の担当です。

機械工作実習。（横フライス盤、ボール盤）

機械工学実験。（引張試験）

機械設計製図。（SolidWorks 2014 を使用）

C 言語。（Arduino 言語を使用）

メカトロニクス実習。



3. まとめ（学生に伝えたいこと）

①モノを設計する際には強度計算などの基本的な計算は大変重要です。その他にも、組立やすい、分解しやすい、市場の動向、トラックでの輸送、海外に輸出する際の船での輸送などあらゆる角度から色々なことを考えなければならないということ。

②図面は設計者の意志を伝える手段であり、図面が間違っていれば後行程に大変迷惑をかけるとういことも学生には知ってほしいと思います。私自身も間違いの図面を書き、モノが出来上がってきて現場の組立の方に「取り付けられない」とお叱りを受けたり、自分で追加工することになった経験があります。また組織において仕事をする際には自分の部門だけではなく、他部門との協力関係がなければ成功を収めることはできず、コミュニケーション能力が重要であると強く感じました。

③将来、機械などを開発・設計・製図をする際に、学校での機械工学実験や機械工作実習の現場の経験は社会人になって役立つと思います。私自身、工作機械メーカーで働いていた際に強く感じました。